

令和 2 年度 講演会等開催報告

提出日：2021 年 3 月 5 日

開催日時	2021 年 2 月 24 日 (水) 18:00 ~ 19:00
場所	Zoom ウェビナー開催
講演者 (所属・氏名)	島村 琢哉 (しまむら たくや) AGC 株式会社 代表取締役会長
講演テーマ	リーダーは人の心に灯をともし
参加者数 (区分)	合計 403 名 (企業 236 名、学内 133 名、その他 34 名)
講演概要	<p>このボーダレスの時代に求められるリーダー像とは？</p> <p>「人を信じる心が人を動かす」どんなに AI や IOT が進化してもこの気持ちを持ち続ける事が大切。年間約 50 箇所の世界中の拠点を訪問し、約 150 回もの従業員との対話を 6 年間繰り返してきて、その実感を更に深めた。</p> <p>我々は何のために事業（仕事）をしているのか？</p> <p>100 年続く企業の条件は、長期的視野に立つ事、聖域なく変革に取り組む事、創業の精神を忘れない事、この 3 つと言われている。迷った時に立ち戻る原点、易きに馴染まず難きにつく、我々の素材を通じて、世の中に安心、安全で快適な環境を提供し続けていく事。この創業の精神を忘れず、チャレンジを賞賛し、失敗を許容する文化から組織の変革は始まる。</p>
成果等	<p>「両利きの経営」の提唱者であるスタンフォード大学経営大学院チャールズ・A・オライリー教授にも認められた両利きの経営実践企業の AGC。新規参入企業増加による液晶ディスプレイ事業の業績悪化を V 字回復させた原動力は、2015 年に CEO に就任した島村会長（当時 CEO）が進めた両利きの経営による組織文化改革であった。この両利きの経営こそ、既存事業を深化させつつイノベーションも起こして新規事業分野を開拓しなければならないジレンマを抱える全ての日本企業に必要とされる経営であることが認識された。</p> <p>また、その実践においては、組織カルチャーの変革が重要であり、社員との対話などさまざまな機会を通じた社員満足度を高める活動と不可分であることが理解された。</p> <p>更にその活動の推進役としてのリーダーの資質が重要であり、リーダーを育てるために重要なこと、リーダーとして振舞うべき、行動様式や考え方・習慣について様々な示唆を得た。</p>

今後のプロジェクト化等の可能性

島村氏の講演では、両利きの経営についてその神髄をご説明いただきました。自社の持つ知を深掘して磨きこむ「知の深化」と既存の認知の範囲を超えて認知を広げる「知の探究」を同時に進める経営は、今後バイオデザイン部門で提供する ASU プログラムに参加する企業にとって重要なものであり、既存事業を深化させながら新規事業のネタを探索する活動において、非常に有効なものとなりうる。

AGC 株式会社 代表取締役会長 島村 琢哉氏



東北大学病院 病院長 富永 悌二

